

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 株式会社利他フーズ

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

Table with columns: 分類 (Organization/Employee), No., Check Item, Basic, Challenge, Specific Measures, and 17 numbered columns for SDG goals. Rows include categories like '公正な取引' (Fair Trade) and '労働・人権' (Labor & Human Rights).

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 株式会社利他フーズ

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																		
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		・業務運営や、昇進・昇格等に人種、性別などの違いによる差別的待遇はない。 ・役員等管理職に女性を登用している。 ・【予定】2022年5月までに外国人の雇用を予定している。 ・就労継続支援b型事業所に対してバッジ等の発注を定期的に行い、障がい者に作成を依頼している。 ・熊本県女性の社会参加加速化宣言の登録を行っている (https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/56/50480.html)。				4.4	5.1 5.5				8.5		10.2 10.3							16.7	

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 株式会社利他フーズ

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。
 (様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																				
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17				
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。		●	・ウェブ会議の積極的導入や会議室利用時間の限度を設定し定期的に換気を徹底している。また、会議はできるだけオープンスペースの利用を推奨している。			3					8	9.1		11	12									
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。		●	・すでに一部導入しているものもあるが、引き続き、契約手続き、社内手続きやカタログ等の電子化を進めている。 ・社員へのPC配布等の投資を行い、テレワークも一部導入している。								8	9.1		11	12									
	21	【プライト企業】 ・プライト企業に認定されている。		●				3	4					8	9			12								
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・社内で出たごみの処理ルールを設定しており、分別処分を行うとともに、削減の周知を行っている。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1						
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・【予定】2022年5月までに簡易計算シート等を用いてエネルギー使用量の算出を行い、管理を徹底する。 ・オフィスの節電を従業員に周知し、LEDの使用を図っている。 ・社用車を廃止し、必要な時にはカーシェアを利用している。							7.3						13								
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・【予定】2022年5月までに簡易計算シート等を用いてCO2排出量の算出を行い、管理を徹底し、その抑制への取り組みを行う。		2.4					7.2 7.3 7.a					12.4	13	14	15						
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・事業及び従業員の活動において、廃プラやレジ袋などの使用削減に努めている。 ・ペットの飼い主に対して、社会的責任の存在を自覚してもらう啓発をホームページにて行っている。						6.6									14	15					
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		・電子決済や電子契約書を導入しペーパーレス化を推進している。 ・社内使用書類について、裏紙の利用を推奨している。										9.4				12.2 12.4 12.5		14.1	15				
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・節水や汚水等の適切な処理を実践している。 ・環境省の「ウォータープロジェクト」の参加企業である。 (http://www.env.go.jp/water/project/action/com.html)		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b					11.5					14.1 14.2 14.3	15		17		
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		・廃棄される馬肉等について再利用を行い、ペットフードへの再利用が可能な商品を開発している。 ・【予定】2022年5月までにグリーン購入の意義を周知、推進する。									9.4				12.4 12.5	13	14	15					
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。	●		・食肉販売に際し、訳アリ商品や適切な人数分表示を行い(個食による提供)、フードロスの削減に取り組んでいる。 ・肉の切れ端(通常廃棄される)を利用してペットフードの開発を行っている。	1	2					6.4							12.3		14	15		17		
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●														11.6 11.7		13.1 13.3		15			17		
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。	●										7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3							
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・「伐って、使って、植えて、育てる」の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●								6				9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15					
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●								6.1 6.3 6.6						11.3 11.4 11.5	12.2	13		15					
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●			・商品包装等についてプラスチックの使用削減や環境にやさしい素材の使用を推奨している。 ・過剰包装をしない体制を試みている。												12.2 12.5		14						
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●		・健康エコ手当(マイカー以外での通勤の従業員に手当)を創設し、排気ガスの削減を行っている。 ・国交省の「エコ通勤優良企業」に認証されている (http://www.ecomo.or.jp/environment/ecommuters/list_pref43.html)。										9.4		11.2		13.1 13.3							
36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●										7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13					17.2			

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 株式会社利他フーズ

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																			
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		・商品の安全確保のために生産者との協議の場を設けている。 ・商品、サービス利用時に想定されるリスクの洗い出しと対策を実施している。 ・商品、サービスの質の確保のため、相談窓口を設定している。 ・生産者情報を開示している。			3.9						9				12.4							
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		・キャッシュレス決済を複数導入している。 ・誰もが利用しやすいサービス提供のため、オンライン上での複数のルートを展開している。 ・消費者庁の「消費者志向自主宣言 フォローアップ活動」に参加している (https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer_research/consumer_oriented_management/businesses/#00j)									9.1	10	11.7								17	
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		●	・馬肉の熊本飼育のもの、又は県内企業のを優先的に(8割程度)仕入れている。			2.3 2.4				7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15				17	
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。		●								7					12.2	13.1		15					
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●	・ペットの愛護を図るため、ドッグフードの開発を行っており、またドッグラン(あそびの郷くぎの内、健康いぬ生活ドッグランパーク)の展開も取り組んでいる。 ・害獣とされる鹿、猪の肉を利用してペットフード(鹿肉ヘルシージャーキー等)を開発、販売している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に努めている。		●	・フードアクションニッポンの認定を受けている (https://syokuryo.maff.go.jp/partner/)。 ・農林水産省の「Let's和ごはんプロジェクト」に参加している (https://www.maff.go.jp/j/keikaku/syokubunka/culture/wagohan/act_rita_foods.html)			2.3 2.4					8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15			17		
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		・従業員に対し、居住する地域の活動に参画するよう奨励している。 ・2020年8月24日、人吉市に豪雨災害被害対策として100万円を寄付した。 ・公益財団法人ほしのわに対して毎年10万円寄付している。 ・認定特定非営利活動法人PIESに対して毎月3万円寄付している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
	44	【防災、減災、レジリエンス(自助)】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		・【予定】2022年5月までにハザードマップの周知を図る。 ・事業所内に防災グッズを常備している。				4							11.5		13.1			16				
	45	【防災、減災、レジリエンス(共助)】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。		●	・人吉の豪雨災害に対し、災害ボランティアを派遣した。	1.5		3	4							10.2	11.5		13.1			16	17		
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。		●											9		11	12	13.1						
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。		●	・顧客や従業員に対し、SDGsの普及啓発を行っている。 ・【予定】2022年5月までに社内でSDGsについての取り組みを共有し、意識向上を図る。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		●	・大学生のインターンシップを毎年積極的に受け入れている。 ・代表者が熊本学園大、熊本大において、定期的に講義を行っている。				4				8.6		10.2								17		
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		●	・コーポレートサイトを開設し、会社のメッセージを公表し、より就業しやすい環境を整え、地元の学生を積極的に雇用している。				4.4					8.5 8.6									17		
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。		●	・地元で生産された馬肉の料理開発を行い、ホームページ上で公開することで食育に取り組んでいる。 ・フードアクションニッポンの認定を受けている (https://syokuryo.maff.go.jp/partner/)		2		4.3 4.4 4.5					8.6		10.2		12	13	14	15			17	

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。